

第 32 回日本ダウン症療育研究会 大会長からのメッセージ

愛知県医療療育総合センター中央病院 副院長
水 野 誠 司

このたび第 32 回日本ダウン症療育研究会を担当させていただくことになりました水野でございます。

1970 年代に設立されて長年ダウン症の子どもたちの療育を実施してきた愛知県心身障害者コロニーは 2 年前に組織改編して愛知県医療療育総合センター中央病院として再出発しました。このような機会をいただきましたことを光栄に存じます。

ダウン症のある子どもたちの療育に関わる職種は実に広く、理学、作業、言語などの療法士のみならず医師、看護師、保育士、施設の支援員や保健師、学校の教職員、本会が養成する赤ちゃん体操指導員などの他、ご家族自身も療育の重要な担い手です。

この研究会でダウン症の療育に関わる様々な人たちの経験や知恵を知ること、ダウン症のある子どもたちやそのご家族の健康や日々の生活の向上につなげてゆくことができます。

またダウン症候群は千以上もある知的障害の遺伝学的な原因の中で最も多いものです。ダウン症候群のある人の健康や発達の特徴を十分に理解してそれを療育に活かすことは、他の多くの疾患をもつ子どもたちの療育にも共通して役立つことと信じています。

新型コロナウイルス感染の動向が見通せない現状のため今回も Web 開催ではありますが、その分開催地までの距離を問うこともなく気軽に参加できるメリットもございます。ぜひ多くの方にご参加いただきこの会を盛り上げていただけますようお願い申し上げます。

令和 3 年 1 2 月吉日